

## 受賞作と講評

### 企画賞

岡本健監修『マンガ・アニメで人気の「聖地」をめぐる神社巡礼』  
(株式会社エクснаレッジ 2014 年 5 月)

#### < 講評 >

本書は、昨今ブームになっているコンテンツ・ツーリズムの「聖地巡礼」現象のなかでも、とくにマンガ・アニメに登場する神社について解説し、マンガ・アニメと神社のつながり、それらのつながりができることによって生じた地域活性化についても論じている。

マンガ・アニメをきっかけに神社を訪れるファンにむけて、神社の基礎的な知識が得られるものが第 1 部。第 2 部では神や神話、祭り、地域文化とさまざまなかたちで関わっているマンガ・アニメを紹介している。さらに第 3 部は、ファンの「聖地巡礼」によって神社を含めた地域が活性化した作品を紹介している。

各章は、各地をフィールドワークした学生や若手の研究者によって執筆され、随所に、執筆者の解説や視点、作品の風景と実際の風景の両方が交差するように組み込まれている。楽しいページ構成は、マンガ・アニメファンでなくとも、ファンの読者が楽しんでいるであろう「聖地巡礼」を追体験できたり、ファンであれば本書の内容を元にさらなる「聖地巡礼」を作り出していく、そのような媒介ツールとしての仕上がりになっている。

また、各部の間には、神社や神々についての基礎知識が解説され、神社参拝の方法なども図解で紹介されている。そのような配慮からもわかるように、本書は「神社巡礼」ガイドブックといえる体裁の、大変ユニークな着想、構成、内容の書籍となっているといえ、「企画賞」に値すると考えられる。